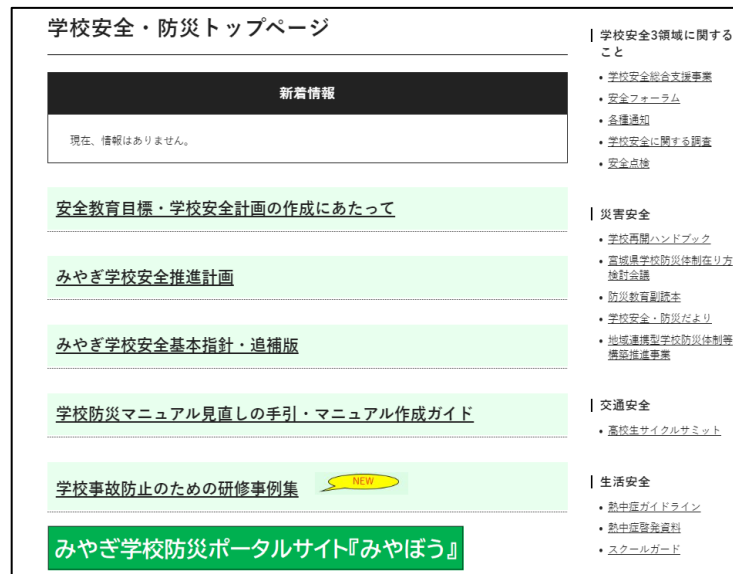


ＪＳＣが作成した事故防止資料の活用事例について ～宮城県教育委員会作成「学校事故防止のための研修事例集」～

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「ＪＳＣ」）では、学校等における事故防止の取組に活用できる教材や資料を災害共済給付Web等で提供しています。

今回、宮城県教育委員会が作成した「学校事故防止のための研修事例集（以下「事例集」）」において、研修会で活用する参考資料として、ＪＳＣが提供している事故防止資料を紹介していただきましたので、その内容についてご紹介します。



宮城県教育委員会が作成した「事例集」

【「事例集」作成の目的等】

宮城県教育委員会では、事故（けが）の未然防止や安全管理体制の構築に向けて、教職員の危機意識や対応能力を高めるための校内研修実施の際に参考としてもらうため「事例集」を作成しました。この「事例集」を校内研修で活用するにあたり、全ての教職員には以下の3つの心構えを持って取り組んでもらいたいとのことです。

1 他校で起こった事例を自分事として捉える

➡事故は自分の学校で明日にも起こり得ると考え、自分事として捉えることが大切。自分事と捉えることで真剣度と集中力が格段に上がり研修の実効性が高くなるものと期待できる。

2 教職員全員で共通認識を持つ

➡事故は、いつ、どこでも起こる可能性がある。管理職や養護教諭が不在のときなど、その場にいる教職員で連携して円滑に事故対応を行うためには、平日頃から事故対応に関して学校内の教職員全員が共通の認識を持つことが必要。

3 高い使命感と熱意を維持する

⇒研修等を通して得た危機管理対応力について、学校の特性を踏まえながら、組織として維持することが求められる。人事異動の多い我々の職場において、それを実現するためには、リーダーの力強い指導力のもと、教職員が「子どもたちの命を守る」ための高い使命感と熱意を維持し続けなければならない。

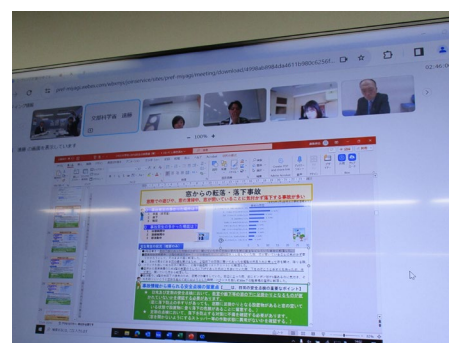
「事例集」は宮城県教育委員会 学校安全・防災のホームページで公開されており、どなたでも活用いただけるようになっています。

【「事例集」作成委員会】

「事例集」作成委員会は、県内各地区・各学校種から選出された18名の作成委員と情報提供・助言を行うアドバイザーとして文部科学省の調査官及びJSCの職員で構成され、令和5年6月の第1回作成委員会を皮切りに、令和6年1月まで計5回開催されました。委員の皆さんが、グループ毎に活発にディスカッションしながら作業している様子を見て、事故の未然防止や万が一事故が起こった際の適切な対応を全教職員に身に付けてもらいたいという強い熱意を感じました。



「事例集」作成委員会の様子（集合開催時）



「事例集」作成委員会の様子（オンライン開催時）

【「事例集」の内容】

この「事例集」には、さまざまなテーマの研修事例が用意されており、各学校（園）において研修会を実施する際のテンプレートとして活用できるようになっています。研修事例には、展開例として研修会の時間配分、準備物、進め方まで掲載されているPDFと学校の実情に合わせ編集し実際に研修会で使用できるパワーポイントのデータがセットになっているため、今まで各学校（園）で研修会の準備に費やしていた労力が大幅に軽減される非常に画期的な取組だと感じました。また、各テーマの効果的な研修実施時期も掲載されているため、例えば年度末に次年度の研修会を計画する際、どの時期にどの研修を実施するかの参考になると思います。

各事例集の作成にあたっては、実際に、作成委員が自身の学校において研修会を実施し、より分かりやすく、且つ、使いやすいものとして何度も修正が行われています。また、実際に行った研修会の写真や参加した教職員の声まで掲載されているため、このような研修会になるということがイメージできるようになっています。テーマによっては、研修時間の確保が困難な場合でも対応できるよう、ショート・ロングバージョンが用意されているものもあります。

「事例集」に掲載されている9つのテーマ

- 重大事故事例から自校の安全対策を検討する研修
- 校内等で発生したヒヤリハット事例研修
- 校種別の事故発生状況を踏まえた事故防止に関する研修
- 安全点検に関する研修
 - ①安全点検の視点やポイントを確認する研修
 - ②安全点検項目の見直しに関する研修
- 休憩時間中の事故（けが）を未然に防止する研修
- 緊急時の校内放送や緊急通報に関する研修
- 応急手当（心肺蘇生、AED使用を含む）に関する研修
 - ①消防署等の外部機関との連携
 - ②事故事例を基にしたシミュレーション訓練
 - ③救命アクションカードの活用
- 熱中症の未然防止や初期対応に関する研修
- 食物アレルギー対応に関する研修

参考として、休憩時間中の事故（けが）を未然に防止する研修事例集の資料について紹介させていただきます。

休憩時間中の事故（けが）を未然に防止する研修事例集の展開例（PDF）

研修名 休憩時間中の事故（けが）を未然に防止する研修 <効果的な実施時期>
5～6月

1 研修目的
小学校では、休憩時間中に事故（けが）が多く発生していることから、事故の未然防止に向けた校内での安全対策について検討することで、教職員の危機管理意識や資質の向上を図る。

2 研修の概要
独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下、JSC）が発行した資料を活用し、事故の発生状況や安全対策について理解・検討するワークショップ研修を行い、校内での安全管理体制の構築につなげる。

3 進め方のポイント
(1) JSCの資料を活用し、休憩時間における事故（けが）の特徴や状況について、教職員間で共通理解を図る。
※使用する資料は、児童の学習（学級活動や保健など）にも活用することが可能である。
(2) 事故の未然防止に向けた安全対策や児童への効果的な安全教育について、お互いに意見や考えを出し合う。経験年数や学年所帯等を考慮し、様々な観点から意見や考えが出るよう、各学校の実情に応じてグループ編成を工夫する。
(3) グループワークで出された意見を集約し、全体で共通理解を図る。日常生活における指導の留意点について確認し合うとともに、各校の危機管理マニュアル等に反映させる。

4 準備物
○進行スライド（※各学校の実情に応じて修正可能）
○パソコン（タブレット）、プロジェクター、スクリーン（モニター）
○小学校向けワークシート（運動場・校庭編、校舎内編）（JSC）
○パンフレット「なくそう！休憩時間の事故」（JSC）
○筆記用具、模造紙、付箋（ホワイトボードや画用紙、Google Jamboard等の活用も可能）

5 研修のイメージ
<導入：ペアでの意見共有> <展開：グループでの話し合い> <まとめ：全体共有>

6 研修に参加した先生の声
○データや資料から、小学校では休み時間中の事故（けが）が多く発生していることを改めて認識した。目頃からの声掛けや安全指導を充実させるとともに、休み時間中の子供たちの様子を注意深く観察したい。
○けがの発生状況や特徴が分かりやすくまとめられており、事故の未然防止に向けて、職員間で共通理解を図ることができた。事故が発生した際の対応について改めて見直し、その内容を危機管理マニュアルに反映させたい。

7 研修の進め方（例）【45分】

時間	内容	進め方	資料等
導入 (10分)	1 ワークシート内の危険な場面について考え、お互いに意見を共有する。 【個人】【ペア】	○本研修の目的について説明する。 ○ワークシート内の危険な場面について、理由を含めて考えさせる。 ○お互いに意見を共有し、研修に対する意識を高めさせる。	進行スライド(1-4) 資料1
展開① (10分)	2 ワークシート(裏面)を使用し、危険な場面について確認する。 【一斉】	○ワークシート(裏面)を見ながら、危険な場面について、改めて確認させる。	
展開② (15分)	3 休憩時間中に発生している事故の傾向について確認する。 【一斉】	○事故の傾向や事例について説明する。 ※本校で発生した事例を提示し、比較することも可能である。	進行スライド(5-7) 資料2 (P2～P4) 本校で発生した事例
展開③ (15分)	4 事故が発生しやすい「場所」や「状況」を確認する。 【一斉】	○事故が発生しやすい「場所」や「状況」について確認させる。	
まとめ (10分)	5 事故を防ぐために必要なことについて、グループで話し合う。 【グループ】	○「防げる事故はないか?」「そのための対策は?」の2点について、模造紙や付箋を用いてグループ内で意見を共有させる。	進行スライド(7) 模造紙、付箋
	6 各グループで話し合われたことを発表し、全体で共有する。 【一斉】	○休憩時間中の安全な過ごし方やルールについて、児童の安全指導に生かせるよう、話し合ったことを全体で共有させる。 ○休憩時間中の事故を防止するために、「校内ですぐに取り組みすること」を全体で確認する。	進行スライド(8-9) 資料2 (P8)

<活用資料>
○休憩時間の事故防止対策（独立行政法人日本スポーツ振興センター）
・資料1）小学校向けワークシート（運動場・校庭編、校舎内編）
・資料2）パンフレット「なくそう！休憩時間の事故」

<参考資料（サイト）>
○固定道具の事故防止マニュアル
～学校（園）における安全教育・安全管理のポイント～
（独立行政法人日本スポーツ振興センター）
・幼稚園、保育所向けのトレーニングカード
・小学校向けワークシート

休憩時間中の事故（けが）を未然に防止する研修事例集の進行スライド（PPT）

令和 年度 職員研修

休憩時間中の事故（けが）を未然に防止する研修

日時：令和 年 月 日（ ）
□□時×□分
場所：○○立△△学校（会議室）

1

<本日の研修の流れ（45分）>

<目的>
小学校では、休憩時間中に事故（けが）が多く発生していることから、事故の未然防止に向けた校内での安全対策について検討することで、教職員の危機管理意識や資質の向上を図る。

1 導入（10分）
○ワークシート内の危険な場面について考え、お互いに意見を共有する。【個人】【ペア】

2 展開（25分）
○休憩時間中に発生している事故の傾向について確認する。【一斉】
○事故を防ぐために必要なことについて話し合う。【グループ】

3 まとめ（10分）
○各グループで話し合われたことを発表し、全体で共有する。【一斉】

2

（導入）危険だと思う場面を○で囲んでください。

独立行政法人日本スポーツ振興センター 運動場・校庭編

安全な遊び方を確認しよう！
運動場・校庭編

危険な場面を○で囲んでください！
安全な遊び方を確認しよう！

運動場・校庭編

3

（導入）危険な場面を確認しましょう。

独立行政法人日本スポーツ振興センター 運動場・校庭編

危険な場面を○で囲んでください！
安全な遊び方を確認しよう！

運動場・校庭編

4

<展開①>

休憩時間中の「事故の傾向」と「事例」について

休憩時間中の事故を未然に防ぐ努力をしましょう！

小学校では、子どもたちの事故の約半数が休憩時間に起きています。手ェッパリストを用いて、事故の未然防止に努めましょう！

休憩時間中の事故の傾向

どこで起きていますか？

どんな状況ですか？

5

自校で発生した事故事例

※自校で発生した事例を提示し、比較することも可能

6

<展開①②>

事故が発生しやすい「場所」や「状況」について

休憩時間の学校... どこで起きるといって、事故の発生しやすい場所や状況について、グループで話し合ってください。

①防げる事故はないか？

②防ぐための対策は？

※グループで話し合ってください。

7

まとめ

小学校では、子どもたちの事故の約半数が休憩時間に起きています。手ェッパリストを用いて、事故の未然防止に努めましょう！

グループで話し合ったことを共有しましょう。

- すぐ始められること
- 児童・生徒と一緒に考えていく内容
- 環境（設備・整理）を整えていくこと

8

<まとめ>

9

進行スライド（PPT）には、各学校の事例を載せることができるスライドや、まとめを入力できるスライドなども用意されていますので、基本的には、これらのスライドを作成するだけで、研修資料が完成することになります。

【「事例集」において活用資料として紹介されているJSCの事故防止資料】

研修で活用できる参考資料として紹介されているJSCの事故防止資料は以下のとおりです。全て災害共済給付Webに掲載されています。

- 重大事故事例から自校の安全対策を検討する研修
 - ➡学校等事故事例検索データベース
- 校内等で発生したヒヤリハット事例研修
 - ➡学校等事故事例検索データベース
- 校種別の事故発生状況を踏まえた事故防止に関する研修
 - ➡学校等の管理下の災害
- 安全点検に関する研修
 - ➡学校等事故事例検索データベース
- 休憩時間中の事故（けが）を未然に防止する研修
 - ➡パンフレット「なくそう！休憩時間の事故」
 - ➡小学校向けワークシート（運動場・校庭編、校舎内編）
 - ➡固定遊具の事故防止マニュアル
- 応急手当（心肺蘇生、AED使用含む）に関する研修
 - ➡学校等事故事例検索データベース
- 熱中症の未然防止や初期対応に関する研修
 - ➡学校等事故事例検索データベース
 - ➡DVD「熱中症を予防しようー知って防ごう熱中症ー」
 - ➡スポーツ事故防止ハンドブック（解説編）
- 食物アレルギー対応に関する研修
 - ➡スポーツ事故防止ハンドブック（解説編）
 - ➡教材カード「アナフィラキシーを知って防ごう」

【取材を終えて】

各学校（園）においては、さまざまな研修会を行っていることと思いますが、実際に研修会を実施するとなると、準備の段階から時間を費やすことが多いと思います。

今回、宮城県教育委員会が作成した「事例集」を活用すれば、学校（園）の負担が軽減されますので、これまで以上に研修会が実施しやすくなります。この「事例集」を基に、ご自身の学校（園）の実状に合わせて、資料を追加するなどのアレンジもできますので、多くの学校（園）で活用いただければと思います。

なお、宮城県教育委員会では、今回の「事例集」だけでなく、学校（園）の施設における安全点検の分かりやすい動画等、有益な情報を宮城県教育委員会のホームページで公開していますので、こちらも参考にしてみてくださいはいかがでしょうか。

【お願い】

JSCでは、今回の「事例集」で紹介いただいた資料以外にも、多くの事故防止資料を災害共済給付Web等で提供しています。配布・掲示資料としてそのままご利用いただける資料も多数ありますので、是非ご活用ください。

<参考資料>

- ・ [宮城県教育委員会 学校安全・防災のホームページ](#)
- ・ [災害共済給付Web](#)
- ・ [学校等事故事例検索データベース](#)
- ・ [学校等の管理下の災害](#)
- ・ [パンフレット「なくそう！休憩時間の事故」](#)
- ・ [小学校向けワークシート（運動場・校庭編、校舎内編）](#)
- ・ [固定遊具の事故防止マニュアル](#)
- ・ [DVD「熱中症を予防しようー知って防ごう熱中症ー」](#)
- ・ [スポーツ事故防止ハンドブック（解説編）](#)
- ・ [教材カード「アナフィラキシーを知って防ごう（教職員向け）」](#)

【問い合わせ】日本スポーツ振興センター災害共済給付事業部仙台支所
TEL : 022-716-2106 E-mail : saigaikyosai-sendai@jpnssport.go.jp